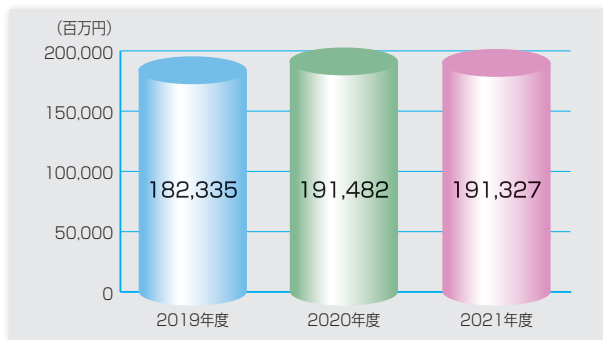


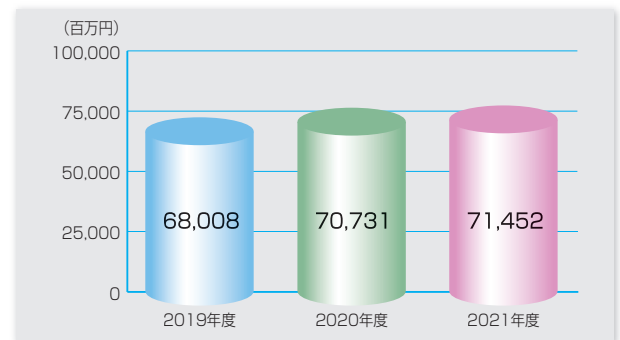
業績ハイライト

■預金積金



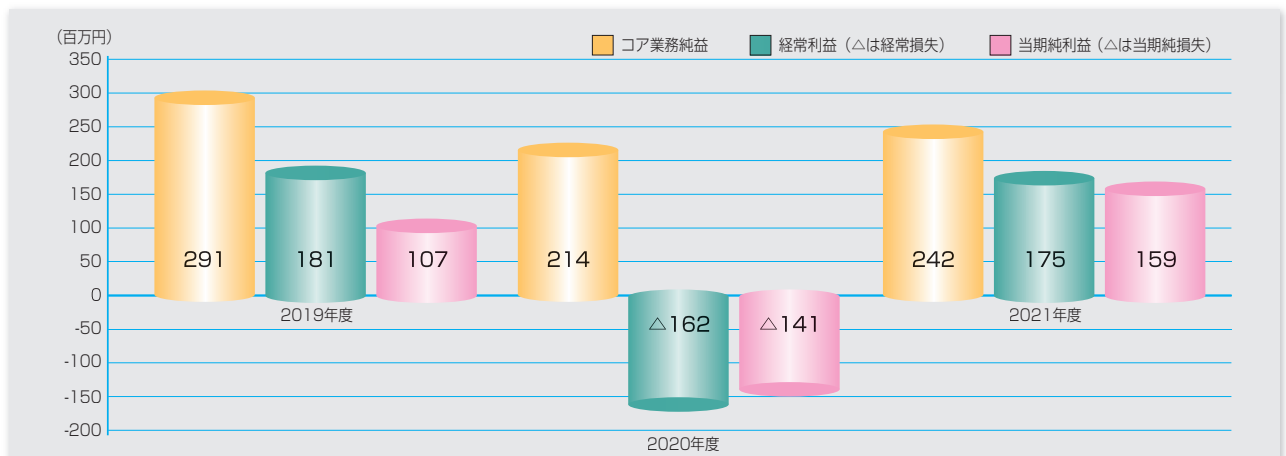
預金積金は、要求払性預金が増加しましたが、定期性預金が減少したことで前期比 154百万円減少し、期末残高は 191,327百万円となりました。

■貸出金



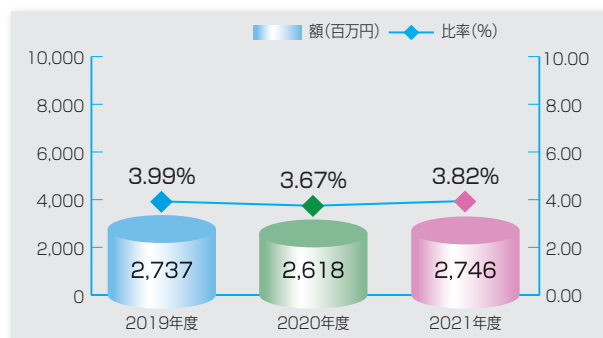
貸出金は、事業資金や住宅資金を中心に前期比 721百万円増加し、期末残高は 71,452百万円となりました。

■損益の推移



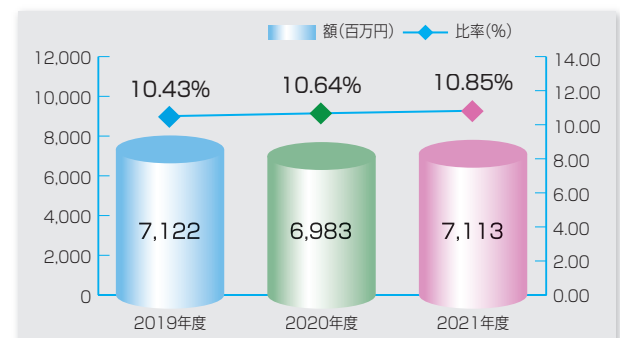
今期は貸倒引当金戻入益や償却債権取立益等が増加しましたが、利回り低下で貸出金利息収入が減少したほか、投資信託売却益等が減少したことで、経常収益は前期比 31百万円減少の 2,098百万円となりました。一方、人件費や物件費等の経費が減少したほか、有価証券償還損や貸倒引当金が減少したことで、経常費用は前期比 369百万円減少の 1,923百万円となりました。その結果、経常利益が 175百万円、当期純利益が 159百万円となりました。

■不良債権額と不良債権比率



貸出金償却等、不良債権処理を進めるほか、事業再生等の支援を実施しています。不良債権額は前期比 127百万円増加の 2,746百万円となり、不良債権比率は前期比 0.15ポイント上昇し 3.82%となりました。

■自己資本額と自己資本比率



自己資本の額が前期比 130百万円増加し、分母となるリスク・アセット等の額が前期比 66百万円減少したことで、自己資本比率規制（バーゼルⅢ）に基づく自己資本比率は前期比 0.21ポイント上昇し 10.85%となりました。



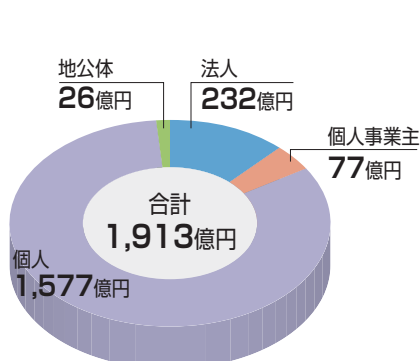
ご預金とご融資

お客さまのご預金について

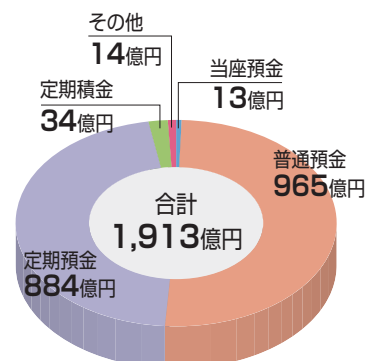
お客さまの大切な資金を安全に、確実に、気軽に運用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択していただけますよう各種預金を取り揃えています。

預金につきましては、コロナ禍で営業活動が制限される中、取引基盤拡大に努めましたが、定期性預金の減少により期中1億円減少し、期末残高は1,913億円となりました。

■預金残高構成(人格別)



■預金残高構成(科目別)



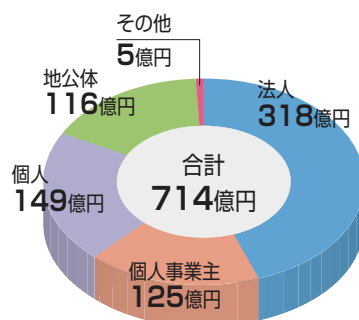
地域のお客さまへの ご融資について

地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、地域の中小企業や事業主の皆さまの事業資金、個人の皆さまの住宅資金や教育資金などにご利用いただいています。

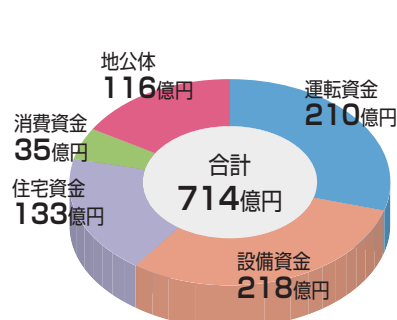
当金庫は、地域経済の発展と地域社会の活性化に寄与するため、多数者利用の原則に基づいた融資を心掛けています。

貸出金につきましては、前年度同様、コロナ禍で売上が減少した事業者への資金繰り支援を継続し、事業資金および個人向け消費者ローン（住宅ローン等）の拡充に努めた結果、期中7億円増加し、期末残高は714億円となりました。預金積金に対する貸出金の割合は37.34%となっています。

■貸出金残高構成(人格別)



■貸出金残高構成(資金用途別)



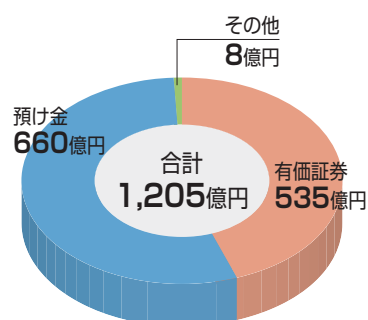
ご融資以外の運用について

当金庫は、ご融資以外の余裕資金について、安全性と健全性を考慮して運用しています。

余裕資金につきましては、信金中央金庫への預け金や有価証券などで運用いたしました。

2022年3月末の余裕資金運用残高は1,205億円となり、うち、有価証券残高は535億円となっています。

■貸出金以外の運用の残高構成



■有価証券の残高構成

